

研究テーマ

地域企業との連携

—専門的技術者を目指して—

岐阜県立大垣工業高等学校

大垣工業高校ってどんな学校ですか？

大垣市の中心部から少し外れた養老鉄道の沿線にあり、創立97年と、とても歴史のある工業高校で、機械工学科群、電気電子工学科群、建設工学科群と地域に特化した化学技術工学科の3学科群、1学科がある学校です。各学科群の2、3年生は、さらに専門性を高めるため各学科に分かれて学習することになります。

西濃地区唯一の工業高校として、地域との係わりもとても強く、多くの卒業生の方が西濃地区の企業で活躍されています。



この研究テーマを選んだ理由は・・・

大垣工業高校では8つの学科に分かれてそれぞれ専門的な技術技能を学んでいますが、工業の発展に伴い新しい技術の開発や技術の細分化、高精度化が進んでおり、学校での学習のほかに、地域の企業の方からさらに高度な技術技能を教えてもらうことで、即戦力としての技術者に少しでも近づくのではないかと思い、このテーマを選びました。



あずま屋

取り組んだ内容とその成果と課題は・・・

○あずま屋の屋根の葺き替え工事(建築工学科)

◇ 学校の中庭にある“あずま屋”(屋根だけの建物)の屋根の葺き替え工事を行いました。金属板での屋根葺き(建築板金)工事を専門工事業者の方の指導を受けながら行いました。

◆ 建築に係わる仕事は、昔ながらの道具を使った手作業で行うことが多く、職人さんの“技”(ワザ)に頼ることが多くあります。職人技を間近で見て、自分たちでやってみて、改めて“技”の奥深さを知ることができました。



板金工事

○安藤鉄工株式会社との産学連携事業(電子機械工学科)

◇ 今回の連携活動は、社員の方々の基礎工業技術教育を学校が担い、企業の自動生産システム開発を社員・高校生・教員の協働により完成を目指す活動です。

◇ 隔週土曜日に学習会が行われ、安藤鉄工様からは10名の社員の方々が自主的に参加されています。



土曜日の学習会

実践をとおして学んだことは・・・

- 板金職人さんも安藤鉄工の社員さんも仕事をしながら新しいことに挑戦され、古くからある技術技能も新しく開発された技術も、身に付けるためには勉強と経験がたくさん必要であると思いました。
- 西濃地区には魅力ある企業が多くあり、その企業一つ一つが地域産業を担い、強いては日本全体を支えていることを知ることができました。